

組合会が開催されました

平成 26 年 6 月 11 日（水）、「かしはら万葉ホール」において第 149 回組合会が開催され、各議案とも慎重な審議が行われ原案どおり議決されました。

第 149 回 日程第 1 報第 1 号 理事長専決処分とした奈良県市町村職員共済組合定款の一部変更の報告と承認について
組 合 会 日程第 2 議第 1 号 平成 25 年度決算について

平成25年度 決算の概要について

総括事項

組合員数及び被扶養者数とも、平成 24 年度末と比較すると組合員で 66 人、被扶養者で 712 人の減少となりました。また、この組合員数の減少に加え、給料の特例減額措置等が影響し、掛金等の標準となる給料月額や期末手当等の額についても大幅な減少となりました。



■ 地方公共団体の数

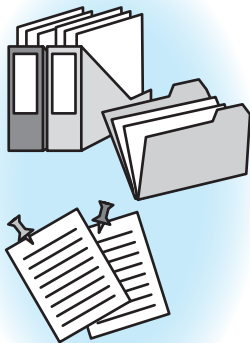
市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	33
計	72

■ 組合員等の状況

種別	組合員数 (人)	被扶養者数 (人)	適用 区分	給料月額 (円)	平均給料月額 (円)	期末手当等年度 累計額(円)
一般組合員 (うち特別職)	11,977 (83)	12,702 (88)	長期	3,760,258,121 (46,220,800)	313,957 (556,877)	16,651,762,000 (180,863,000)
			短期	3,765,754,010 (48,546,400)	314,415 (584,896)	16,656,538,000 (185,109,000)
市町村長組合員	37	52	長期	22,230,400	600,822	86,448,000
			短期	26,334,500	711,743	94,617,000
特定消防組合員	1,687	2,870	長期	497,046,214	294,633	2,265,115,000
			短期	497,046,214	294,633	2,265,115,000
市町村長 長期組合員 ^{注1}	2	0	長期	1,208,000	604,000	4,362,000
			短期	1,248,000	624,000	4,362,000
任意継続組合員	296	278	短期	84,913,525	286,870	-
合 計 《前年度対比》	13,999 《▲66》	15,902 《▲712》	長期	4,280,742,735 《▲168,855,834》	-	19,007,687,000 《▲472,304,000》
			短期	4,375,296,249 《▲169,543,082》	-	19,020,632,000 《▲473,998,000》

組合員 1 人当たりの被扶養者数（扶養率）= 1.14 人 《前年度対比 ▲0.04 人》

注 1：「市町村長長期組合員」とは、75 歳以上の市町村長組合員をいう。



短期経理

収入合計 10,347,182 千円 - 支出合計 10,547,528 千円 = ▲ 200,346 千円

(内訳 当期短期損失金 198,923 千円, 当期介護損失金 1,423 千円)

この経理は、組合員や被扶養者の皆さんの病気やケガ等による医療費等の給付などを行う経理です。

平成 25 年度は、給料の特例減額措置による掛金・負担金収入の減などにより、収入は前年度から約 5 億 3600 万円の減、支出は平成 24 年度に生じた剰余金から調整交付金と特別調整交付金を全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」という。）に返還したことなどから約 7434 万円の増となり、収支の結果、標記の当期短期損失金と当期介護損失金を生じました。

この当期短期損失金のうち 7141 万円を前年度より繰り越した短期積立金を取り崩し補てんし、なお、欠損金を生じるため前年度より繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩し補てんしました。

また、当期介護損失金は、前年度より繰り越した介護積立金を取り崩し補てんしました。

《剰余金内訳》 ・ 欠損金補てん積立金： 326,185 千円
・ 短期積立金： 0 千円
・ 介護積立金： 22,056 千円

◆ 貸借対照表(要旨)

単位：千円

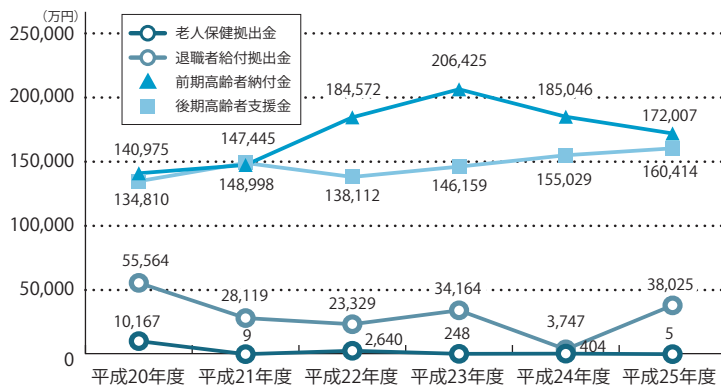
借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,489,580	流動負債	421,053
		固定負債	720,286
		負債合計	1,141,339
		剰余金	348,241
		純資産合計	348,241
資産合計	1,489,580	負債・純資産合計	1,489,580

◆ 損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	9,800,087 (9,800,087)	経常収益 (事業収益)	9,610,400 (9,020,081)
繰入金	26,584	(補助金等収入)	(585,997)
次年度繰越		(事業外収益)	(4,322)
支払準備金	720,286	前年度繰越	
特別損失	571	支払準備金	736,717
		特別利益	65
		当期損失金	200,346
合計	10,547,528	合計	10,547,528

◆ 拠出金の推移



◆ 平成 24 年度医療給付実績(現金給付を除く)

	件数 (件)		日数 (日)		金額 (万円)	
		前年度比		前年度比		前年度比
組合員本人	122,898	▲ 2,604	225,717	▲ 4,115	171,827	▲ 959
家族	135,442	▲ 9,588	225,718	▲ 33,100	194,739	▲ 8,389
合計	258,340	▲ 12,192	451,435	▲ 37,215	366,566	▲ 9,348

長期経理

収入合計 18,575,492 千円 - 支出合計 18,575,492 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金に係る掛金・負担金を処理する経理です。平成 19 年度より長期給付事業については市町村連合会が一元的に処理することとなりました。よって、本組合では、年金給付のための掛金・負担金を徴収し、その全額を市町村連合会へ払い込んでいます。

財源率が段階的に引き上げられているものの、給料の特例減額措置や法改正による追加費用の減などが影響し、収入・支出共に、前年度から約 5 億 512 万円の減となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	1,063,488	流動負債	1,063,488
資産合計	1,063,488	負債・純資産合計	1,063,488

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	18,575,492 (18,575,492)	経常収益 (事業収益)	18,575,492 (18,575,492)
合計	18,575,492	合計	18,575,492

預託金管理経理

収入合計 147,806 千円 - 支出合計 147,806 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金資金の一部の預託を受け、その管理・運用を行う経理です。

長期経理同様、公的年金資金についても平成 19 年度より市町村連合会に集約されていますが、その資金のうち、主に貸付経理への貸付資金や縁故地方債の引受資金について本組合が預託を受け、その管理・運用を行っています。

収入はすべて預託金の運用益となり、その全額を支出として市町村連合会へ払い込んでいます。なお、その預託金が減少したことにより、収入・支出共に、前年度から約 2749 万円の減となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	323,717	固定負債	6,119,394
固定資産	5,795,677		
資産合計	6,119,394	負債・純資産合計	6,119,394

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	147,806 (147,806)	経常収益 (運用収入)	147,806 (147,806)
合計	147,806	合計	147,806

業務経理

収入合計 224,214 千円 - 支出合計 198,511 千円 = 25,703 千円

(当期利益金)

この経理は、本組合の短期給付事業及び長期給付事業に要する人件費や事務費等、また全体の管理運営上の諸経費などの事務コストを処理する経理です。

財源は、地方公共団体から徴収した事務費負担金と、市町村連合会の長期経理からの繰入金のうちから市町村連合会より措置される交付金と、短期経理からの繰入金です。

収入は、連合会交付金の減が影響し、前年度から約 62 万円の減、支出は事務コストの削減により約 385 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は前年度より繰り越した積立金と合わせ、翌年度に繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》 積立金: 214,167 千円

◆ 貸借対照表(要旨)

単位: 千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	384,956	流動負債	14,521
固定資産	2,006	固定負債	158,274
		負債合計	172,795
		剰余金	214,167
		純資産合計	214,167
資産合計	386,962	負債・純資産合計	386,962

◆ 損益計算書(要旨)

単位: 千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	198,511 (198,511)	経常収益 (事業収益)	197,631 (143,788)
当期利益金	25,703	(補助金等収入)	(53,154)
		(事業外収益)	(689)
		繰入金	26,583
合計	224,214	合計	224,214

保健経理

収入合計 319,477 千円 - 支出合計 276,631 千円 = 42,846 千円

(当期利益金)

この経理は、主に組合員やそのご家族の皆さんの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業、特定健康診査、特定保健指導などを行う経理です。

収入は給料の特例減額措置などが影響し前年度から約 1949 万円の減、支出は人間ドックや婦人科健診の受診者増に伴う厚生費の増加などにより約 789 万円の増となりましたが、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金のうち約 5 万円を前年度より繰り越した欠損金補てん積立金が法定額に達するまで積み立て、残りを前年度より繰り越した積立金へ積み立てました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 179 千円
積立金： 694,320 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	752,609	流動負債	36,419
固定資産	3,577	固定負債	25,268
		負債合計	61,687
		剰余金	694,499
		純資産合計	694,499
資産合計	756,186	負債・純資産合計	756,186

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	276,618 (276,618)	経常収益 (事業収益)	319,476 (318,117)
特別損失	13	(事業外収益)	(1,359)
当期利益金	42,846	特別利益	1
合計	319,477	合計	319,477

宿泊経理

収入合計 58 千円 - 支出合計 9,316 千円 = ▲9,258 千円

(当期損失金)

この経理は、宿泊施設を運営するための経理でしたが、平成 21 年 3 月末日をもって事業を廃止したことにより、売却等による処分が完了するまでの間の土地・建物等の所有に伴う維持管理を行う経理です。

収入は事業を行っていないため利息及び配当金のみを計上し、支出は会計処理の変更により減価償却を行わないこととしたことから前年度より約 805 万円の減となりましたが、収支の結果、標記の当期損失金を生じました。

この当期損失金は前年度より繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩して補てんしました。

《剰余金内訳》

別途積立金： 390,000 千円
欠損金補てん積立金： 9,412 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	32,305	流動負債	24
固定資産	367,131	負債合計	24
		剰余金	399,412
		純資産合計	399,412
資産合計	399,436	負債・純資産合計	399,436

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	9,316 (9,316)	経常収益 (事業収益)	58 (-)
		(事業外収益)	(58)
		当期損失金	9,258
合計	9,316	合計	9,316

貯金経理

収入合計 1,140,144 千円 - 支出合計 861,177 千円 = 278,967 千円

(当期利益金)

この経理は、組合員の皆さんからお預かりをした組合員貯金を、安全かつ効率的に運用し、利息として還元する経理です。

収入は保有する債券の運用益が増加したことにより、前年度から約 1 億 6252 万円の増、支出は事務コストの削減を図ったものの、支払利息の増などにより約 673 万円の増となりましたが、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金のうち約 2498 万円を前年度より繰り越した欠損金補てん積立金へ積み立て、残りを積立金へ積み立てました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 3,140,875 千円
積立金： 253,979 千円

◆平成 25 年度末の貯金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貯金総額	貯金者数	加入率	支払利率
628 億 1751 万円《▲ 3 億 6618 万円》	9,428 人《▲ 110 人》	67.34%《▲ 0.48%》	平成 25 年 4 月 1 日より 年 1.2%

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	7,259,819	流動負債	62,897,713
固定資産	59,090,009	固定負債	57,261
		負債合計	62,954,974
		剰余金	3,394,854
		純資産合計	3,394,854
資産合計	66,349,828	負債・純資産合計	66,349,828

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	861,177 (861,177)	経常収益 (運用収入)	1,140,144 (1,140,144)
当期利益金	278,967		
合計	1,140,144	合計	1,140,144

貸付経理

収入合計 166,806 千円 - 支出合計 165,081 千円 = 1,725 千円

(当期利益金)

この経理は、組合員の皆さんが資金を必要とするときに、普通貸付・住宅貸付・入学貸付・修学貸付・高額医療貸付などの融資を行う経理です。

財源は、預託金管理経理及び短期経理からの借入金です。

収入は貸付金の減少に伴う利息収入の減少などにより前年度から約 4388 万円の減、支出についても貸付金の減少に伴う支払利息の減少などにより約 4451 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金と合わせ、翌年度へ繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 121,095 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

借方	金額	貸方	金額
流動資産	355,817	流動負債	128
固定資産	5,408,357	固定負債	5,642,951
		負債合計	5,643,079
		剰余金	121,095
		純資産合計	121,095
資産合計	5,764,174	負債・純資産合計	5,764,174

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	165,081 (165,081)	経常収益 (事業収益)	166,806 (159,370)
当期利益金	1,725	(補助金等収入) (事業外収益)	(7,036) (400)
合計	166,806	合計	166,806

◆平成 25 年度末の貸付金の状況 ※《 》内は前年度対比を表す。

貸付総額	貸付件数	主な貸付金の利率
54 億 606 万円《▲ 11 億 7861 万円》	2,685 件《▲ 461 件》	普通・住宅・特別：年 2.66% 災害：年 2.22%

平成26年度 年間スケジュール予定表

スケジュール	開催予定日	担当課	対象者	備考
年金相談会	8月 21日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員]	会場：大淀町文化会館 (大淀町)
年金相談会	9月 4日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員]	会場：やまと郡山城ホール (大和郡山市)
年金相談会	9月 19日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員・特定消防組合員]	会場：田原本青垣生涯学習センター (田原本町)
年金相談会	10月 9日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員]	会場：奈良県社会福祉総合センター (橿原市)
年金相談会	10月 16日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員・特定消防組合員]	会場：田原本青垣生涯学習センター (田原本町)
ライフプランセミナー	10月 23日	福祉課	50歳以上の組合員	会場：奈良県市町村会館 8階大研修室 (橿原市)
ライフプランセミナー	10月 29日	福祉課	50歳以上の組合員	会場：奈良県市町村会館 8階大研修室 (橿原市)
共済事業説明会	10月 下旬	総務課	共済事務担当者	会場：未定
年金相談会	11月 6日	年金課	58歳以上の希望者 [一般組合員]	会場：やまと郡山城ホール (大和郡山市)
健康講座 生活習慣改善セミナー	11月頃	福祉課	特定保健指導・動機付け 支援の未利用者ほか	会場：未定 ※複数回開催予定
共済事業説明会	3月 中旬	総務課	共済事務担当者	会場：未定

※上記は開催予定です。正確な日時、詳細につきましては各所属所に通知文書を送付いたします。